

①岩手山 (オリジナル)

昭和28年11月岩手フィルハーモニックソサィティ (以下IPS) 主催「国立音楽大学室内楽団演奏会」の折、新6回生の佐川隆二が県公会堂の舞台の置き花の陰にマイクを隠して録音し、数年後オープンリール式のテープからカセットテープへダビングしたものの。

楽譜はこのテープから谷川美智子 (石桜同窓会報28号参照) が採譜したものだけが存在。尚、この時の国立音大のメンバーには生内先生の学友だった神津善行、友竹正則がいる。(IPS団員 盛岡高 斎藤千恵子談)

②北上川 (オリジナル)

①の岩手山発表前の練習時、①と同じく佐川隆二が録音したが、後半部分で女声のアタックミス、伴奏部分の乱れや曲の一部の欠落部分も見られるが、現存のテープはこれだけ。録音後の処理は①と同じ。IPS団員石川妙子 (盛岡高) よると「毎週の岩手高での練習の帰り、盛岡高の女生徒だけで曲中の歌詞にある夕顔瀬橋まで行き『夕顔瀬 夜更けて ……………』の部分を皆で歌いました。合唱曲中このパートを歌った新1回生の石塚邦夫の歌唱力が余りに素晴らしかったのだ」とのこと。

③北上川 (演奏曲)

昨年度石桜同窓会報掲載により、新2回生井藤博、新4回生永沢和久 (IPS団員) から「三陸海岸」「平和」と共に「北上川」の合唱譜の提供があり、それと谷川美智子採譜の伴奏譜を以て、佐川隆二がPCで演奏曲として再現収録 (以下④～⑨演奏曲は全て同氏による)

④三陸海岸 (演奏曲)

③と同じく合唱譜からのPC演奏曲。序奏、間奏、後奏部分が欠落。

⑤平和 (演奏曲)

④と同様ソロパートも欠落している。

⑥岩手中・高校創立25周年記念祝典カンタータ (演奏曲)

岩手中・高校生徒会誌「石桜48号」に掲載された楽譜に基き演奏曲として再現。前奏間奏部分が欠落している。昭和26年11月の記念式典の日に岩手高校講堂で同校グリークラブにより発表された。

以上①②④⑤⑥の曲はいずれも作詞が水原一、作曲生内義夫である。

⑦おぼろ夜の (演奏曲)

新4回生永沢和久提供の楽譜による演奏曲。生内先生18才の作曲。アカペラ曲。近藤義次作詞。

⑧ふるさとの (演奏曲)

昭和23年生内先生が雫石町の自宅から通勤の途次、車窓から眺めた岩手山の美しさに惹かれ、啄木の短歌にメロディをつけた作品。(IPS団員 盛岡高 石川妙子談)

新5回生が中学2年の時、生内先生が授業中「自分の作だ」と紹介。

⑨岩手青年の歌 (演奏曲)

昭和23年、岩手青年自治連盟募集の選定歌。作詞不詳。⑧と同様新5回生が授業で習

った曲。

⑩③の演奏形式変更曲

⑧⑨共、IPS団員も作曲後直ぐ発表会用の曲として練習した。⑧⑨の曲は筆者畑谷守良の微かなメロディの記憶を、盛岡高石川妙子の協力により採譜再現なった演奏曲。

全8曲のうち⑤「平和」は昭和27年初演。それ以外は昭和24年12月の「第1回生内義夫作品発表会」で演奏された。(IPS団員・盛岡高 山口晶子提供資料より)

続・収録曲に関する追補説明

新5回生 畑谷守良

(文中敬称略)

①岩手山 (オリジナル)

前回既述。

②岩手山 (合唱譜)

新2回生井藤博が生内先生の楽譜を写譜しそれを基に再現された演奏曲。交声曲4部作の中で唯一完全な楽譜の残っている曲。若き音楽家が精魂込めて作り上げた曲で、初めて再現された曲を聴いた時はピアノコンチェルトかと思わせるほどの凝った作りに驚いた。ピアノ伴奏の三神昭子が「こんなに難しい曲 ……」と嘆いたとか。

①のテープは②をより平易に編曲したもの。IPS発足当初、団員は②の楽譜で歌ったものと思われる。

③北上川 (オリジナル)

前回既述。

④北上川 (演奏曲)

昨年度石桜同窓会報掲載により、新2回生井藤博、新4回生永沢和久 (IPS団員) からこの合唱譜の提供があり、それと谷川美智子採譜の伴奏譜を以て、佐川隆二がPCで演奏曲として再現収録。

⑤岩手青年の歌 (演奏曲)

昭和23年、岩手青年自治連盟募集の選定歌。作詞不詳。新5回生が中学2年にこの曲を教わった時はこのような伴奏があることは憶えておらず、主メロディだけを微かに記憶していたが、原譜を見てこんなに手の込んだ曲を作曲していたとはと、只々敬服したあの時代これほどまでの曲を作れる人は岩手県内にはいなかったのではないかと思われる。

⑥ふるさとの (演奏曲)

前回既述。

⑦岩手高女寮歌

生内先生が教員になった当時、不来方城址近くにあった寮の歌を作曲。作詞は小田島孤舟。

⑤⑥⑦共、新2回生井藤博が保有していた当時のガリ版刷りプリントから再現された曲。

①③⑥は前回の追補説明で記述したもの。